

## 第3章 新たな県づくりの推進方向

### 1 県づくりに向けて ～人口減少社会への挑戦～

- 我が国は本格的な人口減少社会に突入し、今後もさらなる人口の減少が見込まれる。人口減少問題は、国の未来を左右する大きな問題であり、今まさに手を打っていかねなければならない重要な岐路に立たされている。
- 地方はもっと深刻な状況にある。大都市圏への人口移動は一貫して続き、地方は人口が大幅に減少し、地域の活力が奪われ、このことがさらに人口減少に拍車をかけている。
- 人口の減少は消費活動の衰退を招き、産業を担う労働力人口は減り、県の発展を支える産業や経済が縮小の一途を辿ることになりかねない。  
地域では担い手不足が深刻化し、コミュニティ活動や伝統文化等の継承が困難となり、特に中山間地域では集落そのものの維持さえも難しくなる。
- 人口流出の流れを食い止めることや少子化を克服することは大変に困難であり、県の努力だけでは目の前に立ちはだかる幾多の課題を解決することは容易なことではない。  
このような中であっても、豊かな自然や歴史・文化、特色ある産業など本県の優れた特性を最大限に活かし、次代を担う子供たちのためにも、今を生きる私たちは力を合わせ、人口減少社会に挑戦し、未来を変えていくために最大限の努力をしていかなければならない。
- 新たな県づくりに向けては、人口減少や少子化など時代が突き付けている課題を正面から受けとめ、山口県の元気を創出していくために、県づくりの基本目標の実現を目指し、今なすべきことを明らかにし、総力を結集して取組を推進する。

# 「活力みなぎる山口県」の実現

活発な経済活動や人・物の交流が行われ、各地域では自助・共助が定着し、人々が協力し合って地域づくりの取組が進み、全ての県民が将来に希望を持って地域社会で活躍し、日々の暮らしの安心・安全も確保されている・・・県づくりの推進力となる人口の減少に歯止めをかけ、そして人口減少・少子高齢社会にあっても、元気な産業や活気ある地域の中で、県民誰もががはつらつと暮らせる「活力みなぎる山口県」の実現を私たちは目指す

### 「活力みなぎる山口県」の姿

- 産業基盤の強化・充実や新たな研究開発・事業化に向けた取組等により、企業の活力が増進し、雇用が創出され、経済の好循環が生まれている。
- 国内外から多くの観光客が本県を訪れ、観光地が賑わっている。また、県産農林水産物の認知度が高まり、首都圏や海外等でも需要が拡大している。
- 各地域では、互いの絆を大切にし、支え合い・助け合い(共助)の活動が広がっている。また、地域の資源・魅力を活かした新たなビジネスが展開されている。
- 安心して子どもを産み育てることができる環境や、しっかりとした教育が受けられる環境が整い、子どもや若者がふるさとに誇りをもち将来に夢や希望を抱いている。また、女性や若者、障害者など、あらゆる県民が持てる力を発揮し、いきいきと活躍している。
- 医師・看護師等の確保も進み、医療や介護、福祉対策も充実している。また、地震や津波などの自然災害への対策も進み、子どもから高齢者までが安心して暮らしている。

### 3 計画期間

## 平成26(2014)年度から平成29(2017)年度

プランは、基本目標の実現に向け、この計画期間に取り組むべき施策を明らかにしたものである。

### 4 県政推進の基本姿勢

県政推進に当たっては、次の2つを基本姿勢として、新たな県づくりを進める。

#### ■市町、関係団体、企業、県民の力の結集

新しい山口県は、行政はもとより、全ての主体が自ら行動し、ともに支え合い、一緒になって創り上げていくことが重要である。

- ・住民に身近な自治体である市町との連携をより強化
- ・関係団体や企業等が有するノウハウや強みを活かした施策を推進
- ・県民一人ひとりが社会の担い手として参画する県づくりを推進

#### ■現場重視・成果重視・スピード重視の3つを基本

現場目線に立ち、今すべきことに、できることからスピード感をもって対応することが重要である。

- ・市町や県民の皆様との直接対話の機会を通じて、現場ニーズを直接、把握
- ・常に成果を意識した施策を展開し、成果を発信・共有に努めるとともに、より成果を上げることのできる施策へと改善・見直しを実施